

令和 5 年度 通常総会

議案書 ~~(案)~~

<議題>

- ◆日時：2023 年 5 月 17 日（水）
- ◆場所：パルシステム福島 みんなの交流館
- ◆議題：
 - 第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告
 - 第 2 号議案 令和 4 年度 会計決算報告・監査報告
 - 第 3 号議案 令和 5 年度 事業計画（案）
 - 第 4 号議案 令和 5 年度 予算（案）
 - 第 5 号議案 役員改選
 - 第 6 号議案 その他



令和 5 年 5 月 17 日（水）

於：パルシステムみんなの交流館

NPO 法人いわき環境研究室

第1号議案 令和4年度 事業報告

定款第5条（事業）の3本柱（①地域環境についての調査研究および政策提言、②地域環境についての教育に係る事業、③地域環境を改善するための諸活動）に沿って報告する。

【1】地域環境についての調査研究および政策提言事業

1. 自然エネルギー施設等の利活用に関する事業

1) 既存の施設（平窪諏訪神社、田人、湯の岳山荘）の維持管理

○諏訪神社関連（「平窪自然塾」（H29.2発足、運営委員5名）が維持管理に当たっている）

→水車施設が一部破損。修理して使用。

○湯の岳山荘関連

→運用等については、NPO法人いわきの森に親しむ会と協議しながら設備の充実・パンフレット等の作成に当たっている。

○田人関連

→田人観光いちご園にて管理。

※今年度は、NPO主催事業として、諏訪神社の施設を活用した。

2. 研修会・見学会等の開催、他団体主催の研修会等への参加

○自然エネルギー先進地視察（10/28（金））福島県環境創造センター、桧山高原風力発電所、いわなの郷の視察。16名参加。

【2】地域環境についての学習支援事業

地域環境に係る学習支援事業を推進するため、いわき市の「環境まちづくり担い手育成支援事業」に応募し、採択された。令和4年度は、「児童対象の講座（自然エネルギー、水環境等）の一層の充実強化」と「当該事業を効果的・実践的に推進しうる指導者の養成」の2本柱のプログラム構成とし、実践講座の事前研修・事後の意見交換等を通じて、指導者間の共通理解を深め、より充実したプログラムにしていった。

学校の支援内容は、下記のとおりであった。

1. 環境学習支援

1) 好間四小の学習支援

夏井川流域ネットワークとの共催事業として実施

○第1回（6月2日（木））：好間川水源～夏井川合流点～河口を辿るバスツアー

1～6年生参加（29名）

○第2回（7月7日（木））：水生生物調査（好間川）、水質調査 5～6学年参加（9名）

○第3回（11月2日（水））：防災環境教育（講義と模型実験等）5～6年生（9名）

2) 平四小学習支援 「自然エネルギー」および「水防災」学習支援

今年度は、6年生2クラス67名を対象に、平窪自然塾及び福島高専の協力をいただき、実施した。

○第1回（6月16日（木）08:20～11:00）：晴

自然エネルギーの重要性が高まっている理由について講義した後、自然エネルギーに関する機器・教材を使っての学習（ペルチェ素子発電、手動発電体験、ゲーム体験、水力発電、太陽光発電、風力発電）を取り組んだ。

○第2回（7日19日（火）08:20～11:00）：曇一時雨

諏訪神社において、自然エネルギー施設体験、ソーラーカー・足漕ぎ発電・火起こし体験小水力発電に取り組んだ。校舎内では、室内温度、照明器具、体感温度の場所による違いを体験学習した。

○第3回（9日7日（水）08:20～11:00）：曇一時雨

校舎内で、「地球温暖化と近年の水災害」について講義の後に、「ジオラマによるいわきの防災施設」、「森林保水実験」、「土砂流出実験」、「水災害対策」の4コーナーに分かれて、模型を使った実験と体験学習を行った。

3) 夏休み理科自由研究支援講座

○7月9日（土）09:30～12:30 パルシステムみんなの交流館2階で開催。

「水の一生と私たちのくらし」をテーマとした。水の循環説明、流域モデル、森林の保水実験、浮力についてグループ実験、浮沈子の制作、理科自由研究の進め方に取り組んだ。

7組（大人7名、小学生7名）参加

2. 指導者養成講座

○第1回（10月18日（火）13:30～15:50 福島高専で、水災害防災教育指導者育成講座を実施した。

○第2回（12月13日（火）13:30～15:50 福島高専で、水環境・生物教育指導者育成講座を実施した。

【3】地域環境を改善するための諸活動事業

1. 農村水環境学習支援

1)小川町閑場地区支援講座

7月30日（土）09:00～12:00 参加者は、児童・保護者5名。閑場地区を流れる農業用水路及び夏井川支流の下田川において、水生生物調査を実施した。下小川集会所に戻り、水質調査（3カ所）を行った。実験後、生きもの調査及び水質分析結果の評価について説明した。

2)赤沼地区支援講座

コロナ禍に配慮し、主催者側で実施を見送った。

2. パルシステム福島主催「商品展示会」に出展

1)9月17日（土）09:00～12:30 ビッグパレットふくしまで3年ぶりに開催。いわき環境研究室の活動内容の紹介と反力推進船、遡り水車、遡り風車、針金アメンボ、浮沈子などを展示し、試作品を持ち帰っていただいた。来場者600人。

3. 従来実施していた事業

1)福島県環境教育フォーラム（三春町の環境創造センター主催）

2)「田人ほっこり祭」（田人観光いちご園）

3)「こどもあいのネットフェア」

上記3事業は、コロナの影響で中止になった。

【4】その他

1. 広報活動

- 1)HP の充実 → 各事業実施後、速やかに更新されるようになった。
- 2)「ニュースレター」を発行した。 → 全会員に配布。

2. 会議

1)総会・理事会の開催

○第1回理事会

5月21日（土）パルシステム福島みんなの交流館で開催。令和3年度の事業報告・会計報告及び令和4年度事業計画・予算案が審議された。

○令和4年度通常総会

5月21日（土）第1回理事会に引き続き同会場で開催。令和3年度の事業報告・会計報告・監査報告及び令和4年度事業計画・予算案が承認された。

○第2回理事会

1月25日（水）パルシステム福島みんなの交流館で開催。令和4年度の事業中間報告・会計中間報告及び令和5年度事業計画・予算案が審議された。

2)定例事業推進会議の開催

事業毎に実施内容の事前打合せの機会を多く持つことができた。パルシステム福島みんなの交流館を会場に、主に支援事業の打ち合わせを行った（月1回）。

3. 財政面の強化

1)各種助成金の活用

- ①いわき市環境担い手育成支援事業からの受託事業（49.94万円）
- ②河川財団の助成金の活用（52.95万円）

2)寄付金の活用

- ①いわき信用組合からの寄付金（20万円）

第2号議案 令和4年度 会計決算報告・監査報告

科 目		予算(A)	実績(B)	差額(A-B)
I 収入				
1. 会費収入				
	正会員	30,000	28,000	2,000
	特別会員	50,000	50,000	0
(小計)		80,000	78,000	2,000
2. 事業収入				
	市環境まちづくり担い手育成支援事業	499,400	499,400	0
	河川基金	530,000	529,500	500
(小計)		1,029,400	1,028,900	500
3. 寄付金収入				
	いわき信用組合	200,000	200,000	0
	その他	0	68,000	△ 68,000
(小計)		200,000	268,000	△ 68,000
4. 雑収入				
	通帳利子	0	4	△ 4
(小計)		0	4	△ 4
[当期収入合計]		1,309,400	1,374,904	△ 65,504

科 目	予算(A)	実績(B)	差額(A-B)
II 支出の部			
1. 事業費			
・地域環境の調査研究および政策提言事業			
再生可能エネルギー事業関係	200,000	62,438	137,562
水環境学習支援	300,000	446,829	△ 146,829
先進地視察(県内、県外)	100,000	78,140	21,860
講演会	50,000	0	50,000
(小計)	650,000	587,407	62,593
・地域環境についての教育事業			
学校教育支援	550,000	472,878	77,122
自由研究講習会経費	10,000	0	10,000
田人地区学習支援講座	10,000	0	10,000
(小計)	570,000	472,878	97,122
・地域環境を改善するための諸活動事業			
下小川・赤沼環境学習支援	5,000	0	5,000
子供アイネット支援事業	5,000	0	5,000
他の団体との連携活動費	18,000	3,000	15,000
(小計)	28,000	3,000	25,000
2. 管理費			
通信費	10,000	6,096	3,904
旅費交通費	10,000	37,120	△ 27,120
講習会等参加費	10,000	0	10,000
事務用品、備品費	30,000	7,499	22,501
インターネット管理費	24,000	24,000	0
広報費(パンフレット、ニュースレター)	20,000	10,000	10,000
会議費	10,000	772	9,228
予備費	2,000	12,986	△ 10,986
(小計)	116,000	98,473	17,527
[当期支出合計]	1,364,000	1,161,758	202,242
当期正味財産増減額	△ 54,600	213,146	△ 267,746
前期繰越正味財産額	239,952		
次期繰り越収支差額		453,098	

令和4年度 会計監査 報告書

令和5年5月8日、理事から提出された令和4年度事業報告書、特定非営利活動に係る事業会計収支決算書、同貸借対照表並びに同財産目録を監査した。

1. 監査の範囲

事業報告書および会計に関する帳簿・書類の正確性ならびに妥当性について監査した。

2. 監査結果の所見

事業報告書および財産目録等は、法令に基づき当法人の財産及び収支を正しく反映しているものと認める。

令和5年5月8日

NPO 法人いわき環境研究室

監事 和田 隆

監事 江尻 勝紀

第3号議案 令和5年度事業計画(案)

<方針>

令和5年度も、コロナ禍の影響を受け、社会全体の諸活動が大きく制約されると想定されるものの、当会の主要3本柱に沿った諸事業を可能な限り推進していきたい。

令和5年度事業計画

【1】地域環境についての調査研究および政策提言事業

1. 自然エネルギー施設の利活用に関する事業

○既存の施設（下平窪諏訪神社、田人、湯の岳山荘）の活用の充実。

それぞれの施設の維持管理に当っていただいている3団体（「平窪自然塾（諏訪神社）」、「NPO 法人いわきの森に親しむ会（湯の岳山荘）」、「田人観光いちご園」）と連携を保ちつつ積極的な活用に取り組んでいきたい。

なお、諏訪神社の水車が老朽化し、設備更新する。

2. 小学校環境教育教材の開発

○自然エネルギー及び水環境関連（洪水モデル等）の学習用教材の開発を引き続き進める。

3. 研修会・見学会等の開催、他団体主催の研修会等への参加

○学校等での環境学習の充実を図るため、環境保全活動の実践者を支援育成する講座を開催する。

○自然エネルギー等の研修会を企画する。

4. その他

○関連他団体主催の事業への参加

【2】地域環境についての教育事業

1. 自然エネルギーに関する学習支援

○社会情勢を踏まえながら、拠点3施設の維持管理組織と連携し、それぞれの施設に隣接する学校・公民館での学習支援に取り組む。→ 平四小、他

2. いわき市内の中学校での水環境学習支援事業の推進

○好間四小、平四小等の支援に取り組む。

3. 小学生対象の夏休み自由研究のための支援講座の開催

○状況を見て、開催形式等、工夫して実施の方向で検討する。

【3】地域環境を改善するための諸活動事業

1. 依頼による諸事業

以下の諸事業については、主催者からの依頼があれば、積極的に対応していきたい。

1) 農村水環境学習支援（下小川閑場、赤沼地区）→ 従来、夏休み前半に実施

2) 「ふくしま環境教育フォーラム」（コミュタン福島）

3) 「商品展示会」（パルシステム福島）

4) 「こどもあいネットフェア」

5) 関連団体との連携事業

① 「NPO 法人いわき鳴き砂を守る会」の諸行事への参加・支援。

② 夏井川流域の会の活動支援。

③ その他 要請があれば極力対応する。

【4】その他

1. 広報活動

- ① HP の充実・更新。
- ② 当 NPO の紹介パンフレットの作成と活用（毎年更新）。

2. 事務局体制の強化

諸事業を効果的に推進するため、月 1 回程度の割合で、「事業推進会議」を開催する。

3. 令和 5 年度の各種事業推進のための助成金活用

- ① 河川財団からの助成（「児童・生徒対象の水環境学習プログラムの実践的活動支援事業」）として活用（3 年目）、546,500 円。
- ② いわき市「ゼロカーボン人づくり公民連携事業」の受託事業として申請（約 50 万円）。

4. 「いわき信用組合」からの令和 5 年度分として 10 万円の寄付金（5 年目）。

第4号議案 令和5年度予算(案)

科 目		予算(A)	前年度実績(B)	差額(A-B)
I 収入の部				
1. 会費収入				
	正会員	30,000	28,000	2,000
	特別会員	50,000	50,000	0
(小計)		80,000	78,000	2,000
2. 事業収入				0
	ゼロカーボン人づくり公民連携事業	500,000	499,400	600
	河川基金	546,500	529,500	17,000
(小計)		1,046,500	1,028,900	17,600
3. 寄付金収入				0
	いわき信用組合	100,000	200,000	△ 100,000
	その他	0	68,000	△ 68,000
(小計)		100,000	268,000	△ 168,000
4. 雑収入				0
	通帳利子	0	4	△ 4
(小計)		0	4	△ 4
[当期収入合計]		1,226,500	1,374,904	△ 148,404

科 目	予算(A)	前年度実績(B)	差額(A-B)
Ⅱ 支出の部			
1. 事業費			
・地域環境の調査研究および政策提言事業			
再生可能エネルギー事業関係	150,000	62,462	87,538
水環境学習支援	450,000	446,829	3,171
先進地視察(県内、県外)	100,000	78,140	21,860
講演会	50,000	0	50,000
(小計)	750,000	587,431	162,569
・地域環境についての教育事業			
小中学校教育支援	500,000	472,878	27,122
自由研究講習会経費	10,000	0	10,000
田人地区学習支援講座	10,000	0	10,000
(小計)	520,000	472,878	47,122
・地域環境を改善するための諸活動事業			
農村水環境学習支援	5,000	0	5,000
子供アイネット支援事業	5,000	0	5,000
他の団体との連携活動費	8,000	3,000	5,000
(小計)	18,000	3,000	15,000
2. 管理費			
通信費	10,000	6,096	3,904
旅費交通費	40,000	37,120	2,880
講習会等参加費	10,000	0	10,000
事務用品、備品費	30,000	7,499	22,501
インターネット管理費	24,000	24,000	0
広報費(パンフレット、ニュースレター)	10,000	10,000	0
会議費	5,000	772	4,228
予備費	10,000	12,986	△ 2,986
(小計)	139,000	98,473	40,527
[当期支出合計]	1,427,000	1,161,782	265,218
当期正味財産増減額	△ 200,500	213,122	△ 413,622
前期繰越正味財産額	453,098		
次期繰り越収支差額	252,598		

第5号議案 役員改選

当日資料（別紙-1）配布

第6号議案 その他

＜令和3年度～4年度 NPO 法人いわき環境研究室 会員名簿＞

	会員No.	役員	会員名	〒	住所
1	2007-02	監事	江尻勝紀	970-8025	いわき市平南白土字勝負田3番地
2	2007-06		富田明雄	971-8185	いわき市泉町四丁目16番地の6
3	2007-07	顧問	橋本孝一	970-8003	いわき市平下平窪字鍛冶内53番地の14
4	2007-08	理事長	原田正光	970-8043	いわき市中央台鹿島二丁目15番地の13
5	2007-10		古内榮一	970-1145	いわき市好間町北好間字外川原25
6	2007-11	理事	松崎和敬	971-8172	いわき市泉町玉露六丁目3番地の8
7	2007-12	理事	和田佳代子	971-8183	いわき市泉もえぎ台1丁目26番地の6
8	2009-01	副理事長	中西恒雄	970-8032	いわき市平下荒川字久世原43番地の14
9	2009-02	理事兼 事務局長	平川英人	970-8044	いわき市中央台飯野二丁目15番地の13
10	2010-01		大方俊吾	972-8322	いわき市常磐上湯長谷町上ノ台110番地の73
11	2012-01	監事	和田 隆	971-8183	いわき市泉もえぎ台一丁目26番地の6
12	2015-01		飯田 教郎	971-8172	いわき市泉玉露一丁目24番地の9
13	2017-01		柳田 明美	970-8026	いわき市平字大町29番地の1
14	2019-01		柳田 彩美琴	970-8026	いわき市平字大町29番地の1
15	2021-01		吉田 真弓	971-8151	いわき市小名浜岡小名3-3-5

(新) 役員名簿

(NPO 法人いわき環境研究室)

役職名	氏名	住所又は居所	報酬の有無
理事	原田 正光	福島県いわき市中央台鹿島二丁目 15 番地の 13	無
理事	中西 恒雄	福島県いわき市平下荒川字久世原 43 番地の 14	無
理事	平川 英人	福島県いわき市中央台飯野二丁目 15 番地の 13	無
理事	和田佳代子	福島県いわき市泉もえぎ台一丁目 26 番 6 号	無
監事	江尻 勝紀	福島県いわき市平南白土字勝負田 3 番地	無
監事	和田 隆	福島県いわき市泉もえぎ台一丁目 26 番 6 号	無

(令和5年5月17日現在)

備考

- 1 「役職名」には、理事、監事の別を記載する。
- 2 「住所又は居所」には、福島県特定非営利活動促進法施行条例第2条第3項に掲げる書面(住民票等)によって証された住所又は居所を記載する。
- 3 「報酬の有無」の欄には、定款の定めに従い報酬を受ける役員には「有」、報酬を受けない役員には「無」を記入する。
- 4 役員総数に対する報酬を受ける役員数(「報酬の有無」欄の「有」の数)の割合は、3分の1以下でなければならない(法第2条第2項第1号ロ)。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。